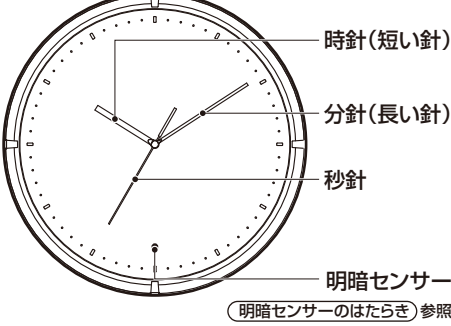


各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

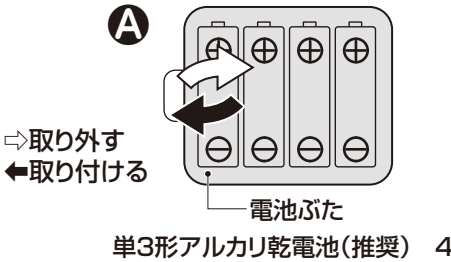
(正面)



電池の入れかた

※電池ホルダーの構造は商品により異なります。

電池ぶたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、4個の電池を入れ、電池ぶたを取り付けてください。

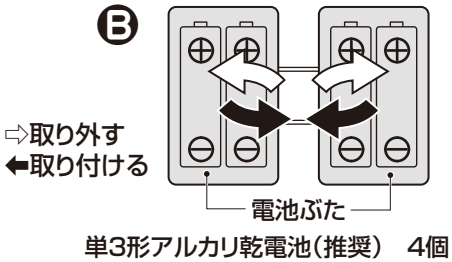


単3形アルカリ乾電池(推奨) 4個

注意

電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

2つの電池ぶたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、それぞれ2個ずつ電池を入れ、電池ぶたを取り付けてください。



単3形アルカリ乾電池(推奨) 4個

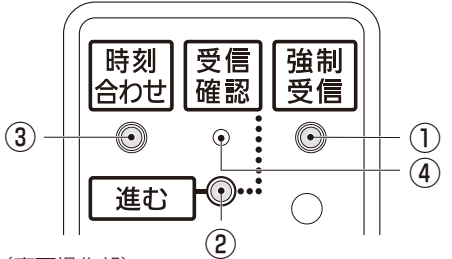
①強制受信 電池を入れた直後に押します。受信機能をONにして、受信を開始します。

②受信確認 受信結果を確認するときに押します。結果は受信確認ランプの点灯、点滅でお知らせします。

進む 手動時刻合わせ状態のときに、押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

③時刻合わせ 約2秒間押し続けると**手動時刻合わせの状態**になります。時刻を合わせ終わったときに押すと、通常の時刻表示になります。

④受信確認ランプ 受信結果を点灯、点滅でお知らせします。ランプ正面から見てください。斜めからは見づらいです。



(裏面操作部)

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせてご使用ください。**電波**が受信できないときの時間精度は、**クォーツ精度**になります。

手動での時刻合わせ.....受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

操作 ※通常の針の動きのときに操作してください。

①時刻合わせを2秒間押し続ける

手動時刻合わせ状態になると、分針が1〜2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。**この状態になってから時刻を合わせます。**

※秒針が動いている間でも、**進む**を押して時刻を合わせることはできませんが、**秒針が動いている間は、手動時刻合わせを終了することができません。**

②進むを押して時刻を合わせる

進むを押してすぐに離すと1分進み、押し続けると早送りします。

③時刻合わせを押して時刻合わせを終わる

針が動き出します。

○手動時刻合わせ状態で4分間ボタン操作をしないと、通常の時刻表示に戻ります。

○強制受信を押すと、手動時刻合わせを終了して受信を開始します。

※電波受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFFの切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

操作

時刻合わせと進むの2つのボタンを同時に5秒間押し続けると電波受信機能のONとOFFが切り替わります。

ONのときに押すとOFFに、OFFのときに押すとONになります。

電波受信機能が切り替わると、受信確認ランプの点滅の回数でお知らせします。

ON状態になったとき : 5回

OFF状態になったとき : 2回

OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押した場合もONに切り替わります。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。

昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

※明るい所で常時停止するときは、「**電池の交換時期お知らせ機能**」を参照してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**強制受信ボタン**を押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個をご用意ください。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「**手動での時刻合わせ**」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

② 強制受信を押す

針は12時に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず**強制受信**を押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ (時計の掛けかた) に従い、時計を確実に掛ける

④ 16分待つってから受信確認を押して受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。

受信確認を押してすぐに離すと、受信確認ランプで受信結果をお知らせします。

5秒間点灯 : 受信成功 (正しい時刻)

5回点滅 : 受信失敗 (不正確な時刻)→**標準電波を受信できない場合**へ

(2回点滅 : 受信機能がOFF) ※**(電波受信機能のON/OFF切り替え操作)**参照

消灯したまま : 受信状態

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて**強制受信**を押してください。

※**受信確認**を押すと、25時間以内の受信結果を表示します。

時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

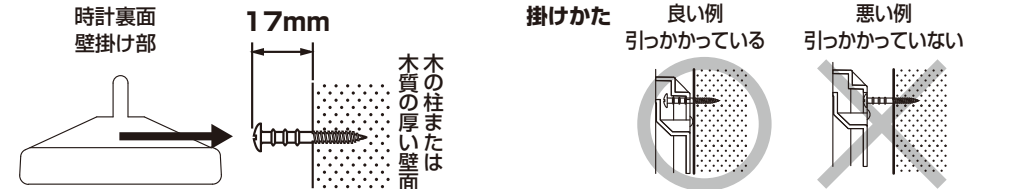
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



■ 石こうボードの壁面の場合

付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

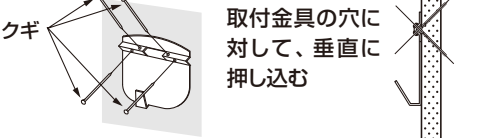
取り付け方法

取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。



取付金具 タイプB



■ その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換時期お知らせ機能.....常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止します。明るい所で秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

※電池の交換時期をお知らせしてから1ヵ月程度は時針と分針は動き続けます。

※強制受信ボタンを押して受信しているときは、明るい所で秒針が12時位置に停止します。

※**電池残量が少ない状態で、使い続けると正常に機能しなくなります。**

注意

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 時計が動いていても5年に1回定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

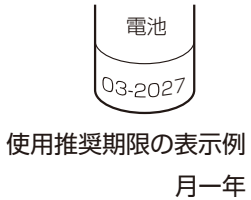
※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。



■ 推奨される電池の条件

電池を長期間使用しますので次のことをお守りください。

- ① 電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上例、2023年3月に交換03-2027より先の「使用推奨期限」表示のある電池
- ② 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの
- ③ 未使用の単3形アルカリ乾電池



■ 電池の種類について

●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■ 電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

電池・製品の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。